

2013年12月8日 「絵本と鳥の巣のふしぎ ～鳥の巣がおしえてくれること～」

小学生以上の方を対象に、府中市立図書館講演会「絵本と鳥の巣のふしぎ ～鳥の巣がおしえてくれること～」を開催しました。

講師は、絵本作家であり鳥の巣研究者としても有名な、鈴木まもる先生です。



今回は、ご家族そろってたくさんの方に参加していただきたくて、コンベンションホールでの開催となりました。



会場には、鈴木先生の鳥の巣の本がズラリ。でもこれは、先生の著作のほんの一部です。



開演前、早く来ていた子どもと一緒に、ホワイトボードでお絵かき。



素敵な作品の完成。あと8分まってね。



その間にも、受付には続々のご家族連れの様が。



講演会が始まるころには、会場はぎっしり。



まずはじめに、絵本のお話をします。

絵本の読み聞かせの起源で、「ドイツの猫」説ってご存知ですか？図書館長さん。

そして…



いよいよ、先生のふしぎなトランクが開けられます。
中には見たこともないような、珍しい外国の鳥の巣がたくさん！



これはツリスガラの巣です。
この巣は、羊毛で作られているんですよ。触ってみてください。
「フワフワ！！」



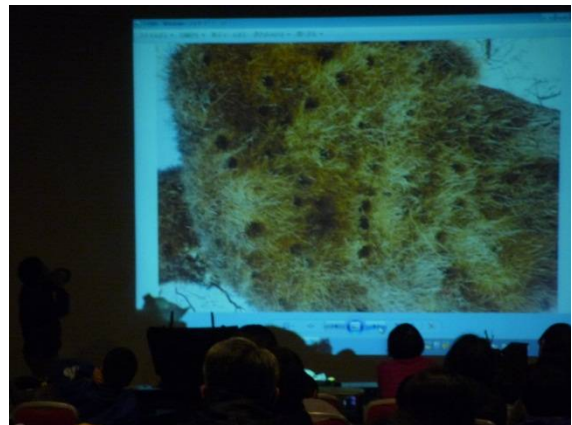
何かここまでで質問はありますか？

「はい！はいはい！！！」

子どもたちが元気に答えます。



これはシャカイハタオリの巣です。
重いから電柱が傾いていますね。



下から見ると、こんな風になっています。



大人にも子どもにも大好評のうちに、鈴木先生のご講演は終わりました。予定時間を30分ほど上回りましたが、それでもまだ聞きたりなくて、終わってからも先生のまわりには人だかりができていました。

会場から出てきた人たちの目は、想像力と知的好奇心を揺り動かされ、キラキラと輝いていました。ちびっこ研究家のみなさんたちにとっても、とても良い刺激になったことでしょう。

鈴木先生の鳥の巣の本や絵本は、図書館にたくさん所蔵しています。機会がありましたら是非手にとって、生命力に満ちた不思議な世界に触れてみてください。